

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都府議会議員です！

発行：2023年5月14日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



軍事で平和はつukれない！生かそう憲法 守ろう9条 憲法集会in京都



▲集会参加の共産党京都市議会議員団。横断幕やプラカードでそろって9条守れと訴えた。
▶トマホーク ノー!!のデコレーションで参加した年金者組合伏見支部のみなさん。



5月3日の憲法記念日に、円山野外音楽堂で憲法9条京都の会などの主催で、憲法集会が開催されました。社民党京都府連、日本共産党（井上哲士参議院議員）、新社会党京都府本部、れいわ新選組の来賓あいさつがありました。立憲民主党からはあいさつもメッセージもありませんでした。

ジャーナリストの末浪靖司による「アメリカの世界戦略になう岸田大軍拡ーいま輝く憲法9条ー」と題しての講演がありました。末浪さんは「自衛隊はアメリカ軍の指揮下で、アメリカの砂漠やアラスカなどで、全員が死亡することを前提に訓練をしているが、その内容は30年後のアメリカの公文書館での公開でしか知らされない」と指摘されました。その後2000人の参加者が、市役所まで憲法ウォークをして、観光客などにアピールしました。

新しい京都市議会議員団で地方選挙の公約実現へ全力!!

統一地方選挙の結果、共産党市議会議員団は14人になりました。しかし、市民の暮らしは大変です。市の財政を改善するためなら市民の生活をかえり見ないという維新などの勢力には負けてはいられません。14人全員が一丸となって公約実現で市民生活を守るために頑張ります。今期の共産党議員団は女性8人男性6人となり（前期は9人づつ）、女性は1人という自民党議員団と違い、ジェンダー平等を進めています。来年2月には市長選挙が予定されています。敬老乗車証の改悪撤回や子どもの医療費助成拡充や小学校のような全員性の中学校給食の実現など、市民の皆さんと力を合わせて頑張ります。



議員日誌

危険な街灯撤去が実現

旧奈良街道の一言時バス停と構口マンション入り口の間にあった倒れそうな街灯が撤去され、喜ばれています。長年使われておらず、倒れないようにワイヤーでくくられていましたが、見るからに危険な状態でした。西野さち子選挙事務所に市民の方から



「長い間撤去されずに困っている。」との相談があり、事務所スタッフが土木事務所に連絡し撤去されました。相談者から「長い間放置されていたのに早く対応してもらって助かった」とお礼の電話がありました。安全になってよかった。

かわら版

維新の新しい政治は古い政治そのものの

「身を切る改革」「新しい政治を作る」と盛んに日本維新の会の皆さんはおっしゃいますが、それならば政党助成金を返すべきではないでしょうか。今年も9党に約315億円余りが配られました。政党助成法では、余ったものは国に返還すべきと決められています。しかし、自民党などと同じように日本維新の会は「基金」に積み立てて返金していません。自民党などの古い政治そのものではないでしょうか。身を切るというならまず、10億円以上のため込みを返還し、政党助成金を受け取らないことです。ちなみに今年の政党助成金は自民党159億1千万円、立憲民主党68億3千2百万円、日本維新の会33億5千万円、公明党28億6千9百万円、国民民主党22億7千百万円、れいわ新選組6億千百万円などです。日本共産党は受け取りません。